

赤い靴通信 440号

私は関東大震災の6年後・世界大恐慌の始まった昭和4年の1月に中区松影町の中村川に並ぶ材木商の長男として生まれました。そして、昭和10年に山下公園で開催された関東大震災の「復興記念横浜大博覧会」を小学1年生になつていた私は毎日自転車で行き大きな刺激を受けたことを先月号に書きましたが、同じ年にボーイスカウトに入団したのです。近所にボーイスカウトの隊長さん・イケメンの白鳥浩さんが住んでいたからです。彼は趣味の8ミリムービーで私を撮ってくれて、その頃では珍しいカラームービーにしてくれました。その幼少期のカラームービーは2巻くらいあったのですが、今では記憶の中だけになってしまいました。さて、ボーイスカウトですが、ある年の夏休みに私たちは千葉県の岩井海岸へキャンプに行きました。年長メンバーは何回か経験しているのですが、年少メンバーは初めてですから、テントの立て方、料理場の作り方など一から覚えさせます。その遠征の前にも野外訓練は、現在の港が見える丘公園の中です。未だ建物がないほど無くて広かった感じがしました。誰でも使用可能な場所でしたが、使用前と同じにしてお返しするのが原則です。私達の時代はその辺は良く守りました。初めに、隊長から不思議なお話がありました。「この三角台(港の見える丘)の地下には小人が大勢いると明治生まれの母から聞いたことがあります。ですから、杭を地中に打ち込んで駄目です。」「皆エッと驚いた「コビト?」「コビト?」「それから皆で石を集めたり、石を丈夫な綱で結わいたりしてテントを立てたのでした。それ以来、私は小人のことが忘れられません。遂に20数年前に私の中のコビトは一人歩きを始め私のノッポの物語が始まりました。」

ヨコハマのフランス山。この深い緑のフォレストはNOPPのふるさとです。文明開化のもっとも前、海に開かれたこの丘ではNOPPたちが長い手と足で木にぶら下がったり、木から木へ渡り歩いたり、それは楽しい平和な日々をおくっていたのです。村ではこんな噂があったそうです。「ノッポを見た夜は、いい夢が見られるぞ」「ノッポに出会うと、夢が叶うぞ」細長い小人を村の人はノッポと呼んでいました。ある日、黒船がアメリカからやってきて、この丘の様子が変わりました。治安のために兵舎が建って、フランスの兵隊さんたちが駐屯したのです。その時から彼等は声をひそめて地下にもぐって暮らすようになりました。でも、人影を気にしながらたまには梢に登ったりして様子を見ることもありました。そんなある時、軍服が青いので、青隊とよばれていたフランス兵のジャン・ラ・パールがノッポを見つけて大騒ぎになりました。赤隊と呼ばれた赤軍服のイギリス兵たちにも伝わって皆集まってきました。早速、村の長老に聞きますと、長老は「彼等は人間が住むと前からの丘の住人なのです。昔から彼等の姿を見た者は幸せになります。ラッキーでしたね。彼らは、地中に居るときは七色の虹色ですが、外に出るときは目立たない黒色になり素早く行動するのです。」と説明してくれました。その夜、ジャンはそれはそれはいい夢を見ました。きれいな虹の橋を人力車に乗って渡ると大勢の仲間から祝福を受けて司令官に任命された夢でした。やがて帰国した彼はフォレストで見た小人が忘れられずその人形をつくり、NOPPと名付けベッドサイドに置きました。彼はまたとても良い夢を見ることができました。それは念願であった南太平洋のフランス領フィジーの駐屯司令官になったのです。この丘に立つて、静かに目を閉じるとNOPPたちの声が聞こえてきます。



「東京湾大感謝祭 2023」イベント風景 横浜市庁舎新アトリウムにて



横浜麦田清風荘「キッズ・ショー」イベント風景 あやとりの天才サトシ君と大きなあやとりを披露

横浜の絵本ミュージカル
青い目の人形 赤いくつの絵本
2023年12月12日(火)
入場無料/自由席 13:00開場 13:30開演
横浜市旭公会堂

今後のスケジュール

- ★12/10(日)
「クリスマスミニコンサート」
時間：13:00~14:30
場所：あかいくつスタジオ
出演：歌 菅谷 孝介(3期生)
田島 実季(5期生)
※赤い靴ジュニアコーラス卒業生、
弦楽アンサンブル・カプリコ・クインテッド
料金：大人 1500円 小中高生 500円
※事前予約が必要
- ★12/12(火)
横浜の絵本ミュージカル
「青い目の人形・赤い靴の絵本」
時間：13:30 開演 (開場 13:00)
場所：横浜市旭公会堂
出演：音楽劇団 まつかなホント
料金：入場無料
- ★12/24(日)・25日(月)
「クリスマスキャロル」(各回・20分)
場所：ヨコハマグランドインター
コンチネンタルホテル 1Fアトリウム
時間：各日①15:30~ ②17:00~
出演：赤い靴ジュニアコーラス 赤隊
料金：観覧無料

横浜市民ミュージカル 「象の鼻のミケ2024」 出演者募集中!!

対象：小学生~シニア
公演日：2024年5月19日(日)
場所：紅葉坂ホール

人影が絶えると木々の間で遊びまわっているかもしれない。夢を叶えてくれるでしょう！そして、いい夢をみたり、夢が叶ったりした時は横浜港が見える丘のフォレストにぜひ来て下さい。

ヨコハマでは、北欧から黒海周辺、北米大陸でも身長15cmくらいのノームに似た小人が目撃されています。スウェーデンでは、ユールトムテ(サントクロース)がトナカイの引くソリで現れ、こども達にプレゼントを配ります。岩手県に伝わる妖怪・座敷童子(ざしきわらし)は家の守り神です。世界のどこかで変幻自在な妖精・精霊・妖怪たちは人間と交流しています。横浜市民ミュージカルでは可愛いこどもNOPPからシニアの長老NOPPまで現れて、人間達に賢いヒントを与えたり、優しい言葉を投げかけたり、難しい問題を一緒に解決してくれたり、そして、多くの人々の心にずつと残る言葉をそつと置いて行くのです。国内外の人々が横浜のNOPPに会いに来てくれる日々を夢見ています。「赤い靴」「青い目の人形」「ミケ・ラ・ジェロ」に続き「横浜・フランス山のNOPP」の絵本を現したくなってきました。

さて、横浜市民こどもミュージカルの10月15日、22日の舞台は両日共10周年を振り返るプログラムに相応しい高い熱量が会場全体に伝わっていました。22日のキッズショー・ゲストのサトシ君は世界のあやとり1000個、本人創作200個より何個か披露され、ユニークなトークを交え天才振りを発揮、人間あやとりを含め動く立体アートでした。これからもあやとりサトシ君の進化を楽しみたいと思います。そして11月8日には、横浜市立元街小学校の創立150周年の周年行事の一環に、音楽劇団「まつかなホント」の皆さんが「赤い靴」「青い目の人形」の物語をミュージカル仕立ての音楽劇にした作品が選ばれ、上演当日に私と平野さんが招かれ、生徒、先生方と一緒に観覧いたしました。体育館の舞台前には「ベッキー」という名前の貴重な青い目の人形が飾られていました。生徒たちは学校の歴史を日頃から学んで今日を楽しく過ごしているようで頼もしく思いました。今回の音楽劇は12月12日、旭公会堂でも無料で上演されます。来年は他県からの依頼も入っているとのこと。P.i坊先生、土屋先生他劇団の皆さんお疲れさまです。ご尽力に感謝しています。

令和5年10月31日付(11月13日発行) 団長 松永 春